

市政功労者表彰

11月3日の文化の日に市役所で、平成21年度の市政功労者表彰式を行いました。地方自治の進展をはじめ、社会福祉の向上、産業の振興などに多年にわたり尽力された5人の方々が表彰されました。



▲表彰を受けられた
竹廣喜友さん（前列右端）
故・古賀和夫夫人の昭代さん
（前列右から2人目）
糸山喜朗さん（前列右から3人目）
井上鹿次郎さん（前列左から2人目）
中村清彦さん（前列左端）

◆民生部門

糸山 喜朗さん（多久原）

17年6か月の永きにわたり、多久市交通安全指導員として交通安全の指導・普及や交通事故防止に努められました。

◆産業部門

井上鹿次郎さん（宝蔵寺）

27年9か月の永きにわたり、多久東部土地改良区の理事として、うち4年は理事長として、土地改良区の運営や施設の適正管理を図り、地域農業の発展に貢献されました。

◆地方自治部門

故・古賀 和夫さん（谷）

13年9か月の永きにわたり多久市議会議員として、うち3年8か月は市議会議長として市政発展に寄与され、地方自治の進展に貢献されました。

◆消防部門

中村 清彦さん（駄地）

24年の永きにわたり多久市消防団員として、うち6年は消防団副団長として、消防団の円滑な運営と団員の育成指導に尽力され、消防の使命達成に貢献されました。

竹廣 喜友さん（板屋上）

22年の永きにわたり多久市消防団員として、うち2年は消防団副団長として、消防団の円滑な運営と団員の育成指導に尽力され、消防の使命達成に貢献されました。



▲受賞者を代表して謝辞を述べる糸山さん

ごぞいます

多久西部支部がトップ賞！全国審査に進む — JA 青年部手作り看板コンクール —



県のJA青年部協議会などが主催する2009年度手作り看板コンクールで多久西部支部（田代修一支部長・16人）の作品が最優秀賞に輝き、10月27日の第54回JA佐賀県青年大会で表彰されました。

農業のある地域づくりの大切さをアピールしようと、農業に従事する担い手グループが描き、各地域に設置している

看板のコンクールで、県内各支部から出展の80点の力作が審査。拡大した絵手紙のようで足や車を止めてでも見たくするような作品は、書かれたメッセージや書体の魅力がゆめタウン佐賀で実施の一般投票でも人気を集め、全国コンクールにも出品されます。

田代支部長は「検討を重ね、知恵を出し合って描いた私たちの思いや願いが評価を受け、多くの人に届けばさらに嬉しい」と話し、みんなで喜んでいきます。

交通事故のない安全で安心な地域社会の実現を目指し、第44回佐賀県交通安全県民大会が10月30日、多久市中央公民館で行われ、交通安全活動へ貢献された田久保怜さん（中多久2区）と須藤林太郎さん（メイプルタウン）が顕彰されました。

田久保さんは、交通安全功労者として佐賀県交通対策協議会長表彰を受賞。平成4年から通学路での保護誘導活動や交通安全教育など交通安全運動のリーダーとして活躍で、現在は多久市交通安全指導員会副会長を務め、会の運営にも尽力されています。

須藤さんは、長年にわたる無事故無違反の安全運転で、全日本交通安全協会会長表彰の交通安全賞「緑十字銀章」優良運転者として記念品が贈られました。



「今後も地域に貢献したい」と田久保さん



「交通ルールを守って運転してきたもので、大変ありがたい」と須藤さん

田久保さんと須藤さんが県民大会で顕彰 — 交通安全活動表彰 —